

**令和元年度経済産業省  
「質の高いインフラの海外展開に向けた  
事業実施可能性調査事業」**

**— ジョージア国アナクリアSEZ開発調査 —**

**調査概要のご説明**

**調査チーム  
上松 裕士  
(プノンペン経済特区株式会社)**

**2019年11月25日**

# 目次

1. (株)トモニアス・プノンペン経済特区(株)のご紹介	3
2. 日本工営(株)のご紹介	5
3. アナクリアの開発計画	7
4. 経緯	8
5. アナクリアSEZ開発調査計画	13
6. アナクリアSEZマスタープラン(案)	14

## (参考資料)

- 1) アナクリアSEZ周辺インフラ整備状況
- 2) ジョージア国輸出入品目統計

# 1. (株)トモニアス・プノンペン経済特区(株)のご紹介

**プノンペン経済特区は、カンボジア王国首都プノンペンにある同国を代表する経済特区**

設立日： 2006年4月19日

主要株主： リム・チホー（創業者） 45.09%

株式会社ゼファー（本社：東京都千代田区）\* 14.17%

JWD InfoLogistics Pcl.（本社：タイ・バンコク） 10.44%

Finansia Syrus Securities Pcl.（本社：タイ・バンコク） 4.17%

**\* (株)トモニアスは、(株)ゼファーの子会社**

会長： タン・カックン（創業者の長男）

CEO： 上松裕士

総面積： 357ha + 116ha

入居企業数： 106社（内日系企業50社）

入居企業総従業員数： 22,300人

入居企業による投資額/輸出額： 611M USD/447M USD（2018年実績）



**PHNOM PENH**  
SPECIAL ECONOMIC ZONE

COMMITTED TO THE FUTURE

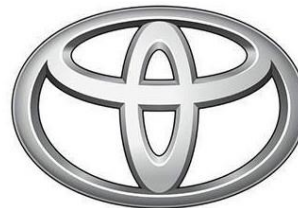
Eat Well, Live Well.



主要入居企業



OJI PAPER



TOYOTA



## 2. 日本工営(株)のご紹介

**NIPPON KOEI**

- 1946年の創業以来、経済開発プロジェクトのコンサルティングを提供する、日本で最も歴史のある国内最大手の建設コンサルタント会社
- これまで、世界160以上の国で5,000を超える多岐にわたるインフラプロジェクトを実施

### 工業団地・SEZ開発

- 過去25年間にわたり、アジア、中東、アフリカ、ラテンアメリカの20カ国以上で工業団地とSEZ開発のコンサルティングを提供
- ミャンマー、ティラワSEZやベトナム、タンロン工業団地を始めとする過去のプロジェクトでは、日系製造業を始めとする民間企業を誘致するための計画、設計、建設工事監督、維持管理、環境及び労務関連の問題、また販売促進とマーケティング計画の策定に取り組むための専門知識と技術スキルを保有
- 土工、道路、排水、給水、下水道、電気、通信システムなど、工業団地・SEZの開発に必要なすべてのインフラ分野をカバーする専門知識を有する



ティラワSEZ (ミャンマー)

タンロン工業団地 (ベトナム)



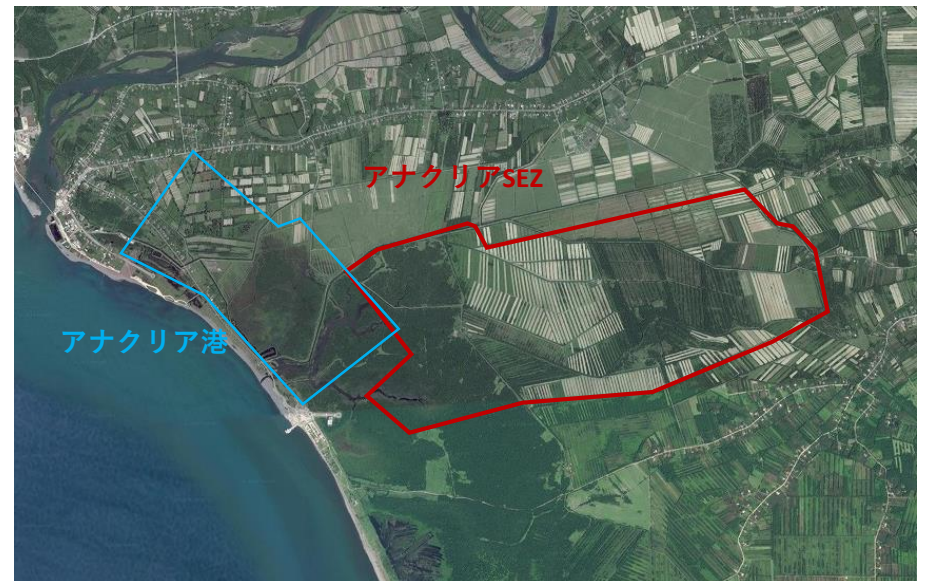


### 3. アナクリアの開発計画

- 黒海沿岸アナクリアでは現在、深海港を計画中
- 同港に隣接して経済特区(以下、アナクリアSEZ)が計画されており、**2017年にAnaklia City JSC (ACJ)が政府から同SEZの開発事業権を取得済**



ジョージア国におけるアナクリアの位置



アナクリア港及びアナクリアSEZ開発予定地

## 4. 経緯

**2018年12月18日** Anaklia City JSC (ACJ)のKeti Bochorishvili CEOからメールをもらう

2019年1月9日 電話会議でより詳しい話しを聞く

2月20日～24日 ACJ株主、経営陣5名がカンボジア訪問、プノンペン経済特区を視察

3月3日～6日 上松と日本工営テディ氏で、ジョージア初視察

4月12日 (株) トモニアスが、経産省「質の高いインフラの海外展開に向けた事業実施可能性調査事業委託費」を申請

5月31日 同委託費が採択

6月26日～29日 ACJ株主、経営陣5名がタイ訪問、レムチャバン港、アマタシティ・チョンブリを訪問

**8月27日** 同委託費契約書締結

9月19日～25日 ジョージアへ第1回調査渡航

11月22日～27日 第2回調査渡航



# 5. アナクリアSEZ開発調査計画

- アナクリアSEZ既存マスタープランのレビュー・改定
- ジョージアへの投資促進の可能性、戦略及び方策の調査・検討
- **アナクリアSEZに対する事業参画の方針策定**

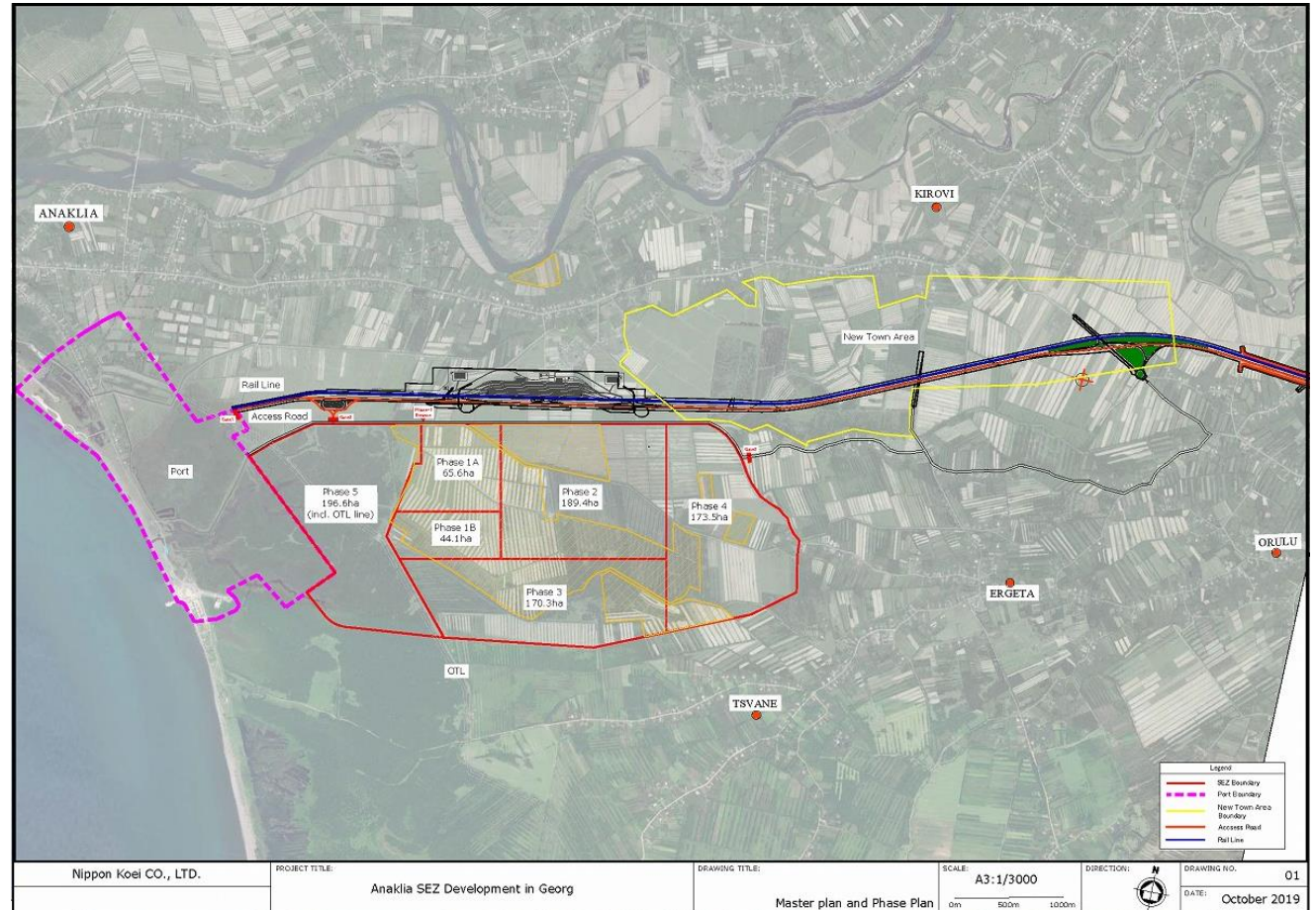
## 調査スケジュール

作業項目	作業内容	M	9				10				11				12				1				2			
		W	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4				
1. 直接投資誘致戦略検討																										
【1.1】 ジョージア国の投資環境確認	関連データの収集及び分析、関係機関へのヒアリング		■	■	■	■																				
【1.2】 周辺市場分析（物流、製造）	関連データの収集及び分析、関係機関へのヒアリング		■	■	■	■																				
【1.3】 組織能力の確認	関連データの収集、分析及び意見交換		■	■	■	■																				
【1.4】 直接投資促進戦略検討	各入手情報・分析結果を基にした直接投資促進戦略の検討				■	■																				
2. アナクリアSEZに係るマスタープラン改定案の作成																										
【2.1】 既存マスタープランのレビュー	既存MPにおける土地利用計画、インフラ計画、開発フレームワーク、道路断面図のレビュー		■	■	■	■																				
【2.2】 計画地の地理的・空間的条件のレビュー	関連データの収集及び分析、関係機関へのヒアリングに基づくレビュー		■	■	■	■																				
【2.3】 既存マスタープランのレビューに基づく課題抽出	レビュー結果に基づいた課題の確認		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■				
【2.4】 オフサイトインフラ要件の確認	既存マスタープランの需要予測及びオフサイトインフラへの接続要件の確認					■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■				
【2.5】 改定マスタープランの作成（スケジュール、資金調達方法含む）	直接投資誘致戦略検討結果及び既存マスタープランの各種レビューに基づく改定マスタープランの作成									■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■				
3. アナクリアSEZ事業への参画可能性検討																										
【3.1】 参画方針策定	直接投資誘致戦略検討結果及び改定マスタープランに基づく委託事業者の参画方針の検討																					■				

# 6. アナクリアSEZマスタープラン(案)

## 設計留意事項

- ACJ所有地を念頭においた開発フェーズの見直し
- 港湾との一体運用を可能とする道路計画の検討・提案
- 限られた高速道路へのアクセス・ポイントに対する交通量分散のための配慮
- 従業員向けの居住地整備
- 優先的誘致産業の配置に沿った面積配分



# 1) アナクリアSEZ周辺インフラ整備状況

項目	既存インフラ		将来開発計画	
電力	×		○	送電線（24MWx2回線）及び港湾敷地内に変電所整備計画があり、SEZにも送電計画がある
上水	○	地下水約5,000m <sup>3</sup> /日の容量、需要量2,000m <sup>3</sup> /日	×	
下水	△	ADB支援5,700m <sup>3</sup> /日の処理場が整備済み、運営開始は2020年の予定	×	
ガス	○	アナクリアに口径220mmのガスマン設済み。供給量50,000m <sup>3</sup> /日、追加で同量の供給が可能	×	SEZ需要増に応じた整備可能性あり
廃棄物	△	既存設備は古く更新の必要あり	○	既存処理場隣接地での開発、需要は75,000t/年を予想 2022年完成予定
通信	○	光ファイバーが埋設済み	×	

## 2) ジョージア国輸出入品目統計

### Georgia Foreign Trade

#### Top Growing Export Products (incl. Re-export)

Product Group	2019 9month Export Value	Value Growth to 2018 9month	% Growth
Motor Vehicles, Spare parts	\$ 489,041.14	\$ 187,925.88	62%
Copper, ores and processed	\$ 482,033.84	\$ 103,544.27	27%
Beverages	\$ 249,978.84	\$ 31,595.86	14%
Pharmaceuticals	\$ 144,442.67	\$ 40,893.44	39%
Railway products	\$ 80,326.43	\$ 17,402.70	28%
Apparel and Footwear	\$ 79,661.07	\$ 20,648.03	35%
Machinery and Mechanical Equipment	\$ 62,936.62	\$ 31,561.85	101%
Optical Equipment	\$ 36,930.39	\$ 11,496.04	45%
Electrical Machinery and Equipment	\$ 17,858.88	\$ 7,641.22	75%
Aircraft Components	\$ 11,257.18	\$ 8,884.50	374%

Source: Geostat



## Top Growing Import Products (excl. Energy products)

Product Group	2019 9m Import Value	Value Growth to 2018 9m	% Growth
Motor Vehicles, Spare parts	\$ 657,831.67	\$ 37,100.41	6%
Copper, ores and processed	\$ 416,781.47	\$ 115,904.06	39%
Pharmateuticals	\$ 300,864.32	\$ 27,722.64	10%
Air conditioning appliances	\$ 105,381.11	\$ 11,905.83	13%
Cosmetics and Beauty	\$ 104,978.70	\$ 9,053.86	9%
Bulldozers, graders and lifting machinery	\$ 88,869.20	\$ 39,484.14	80%
Tyres and rubber products	\$ 81,856.10	\$ 8,092.58	11%
Medical Equipment and devices	\$ 53,174.72	\$ 6,336.01	14%
Washing and Cleaning products	\$ 52,451.28	\$ 3,342.61	7%
Heating, boiling home appliances	\$ 37,970.17	\$ 17,970.50	90%

Source: Geostat

# Transit Statistics

## Top Growing Origin and Destinations

Country	Tonnage Growth	Growth %
China	169,890	76%
Azerbaijan	110,889	57%
Turkmenistan	36,699	214%
USA	35,158	29%
Kazakhstan	25,731	18%
Armenia	18,089	8%

Source: Georgian Railway Containers Statistics

## Top Growing Products

Product Group	2019 9m Tonnage	Tonnage Growth to 2018 9m	% Growth
Preparations of Vegetables and Fruits	168,653	7,327	5%
Metal Ores	93,469	8,495	10%
Ferro Alloys Products	56,427	36,582	184%
Aluminum products	49,212	11,909	32%
Inorganic Chemicals	47,400	8,119	21%
Plastics (primary forms)	36,183	1,138	3%
Electrical Machines and Apparatus	30,243	10,579	54%
Cereals and preparations	26,787	7,937	42%
Processed Stones (Construction)	20,970	5,837	39%
Tyres and Rubber Products	6,269	5,871	1476%

**Source: Georgian Railway Containers Statistics**

**ご清聴ありがとうございました**

**お問い合わせ先**  
**uematsu@ppsez.com**